

事業内職業能力開発計画（個票1）

○事業内職業能力開発計画に求められる内容

1 計画の基本方針

- ・経営理念、経営方針
- ・人材育成（従業員のキャリア形成支援）の基本的方針・目標

○キャリア形成促進助成金の受給のために必要な事項（以下の内容）

経営理念・経営方針に基づく人材育成（従業員のキャリア形成支援）の基本的方針・目標

○ 経 営 理 念

1 顧客満足を第一義にお客様に喜ばれ信頼される企業を目指す。

2 正しい交通ルール・マナーを身につけた初心運転者を育成し、更に地域の交通安全教育センターとしての社会的役割を担い地域社会に貢献できる自動車学校を目指す。

3 自動車学校の職員としての誇りと使命感を常に持ちプロとしての仕事観・人生観の向上を図りイキイキと働ける職場を目指す。

○ 経 営 方 針

「誠実勤勉・親切丁寧・和親協力」の社是に基づき、お客様に信頼・安心・満足感を与える業務に懸命すること。

1 「良識ある社会人」

- ・服 装 と・・・言葉使いが丁寧であっても、身だしなみが良くないと不快感を与える身だしなみ
- ・挨 拶・・・礼儀の始まりであり、出発点。十分に気を配る必要がある。
- ・応 接・・・常に相手の人格を尊重し、誠意を持って接し、相手に信頼と好感を与えるという考え方に徹することが必要である。

2 「教習所職員としての誇りと自覚」

職員は資格を得て安全運転者の育成に携わる者であるという「誇りと自覚」を持つことが大切である。特に指導員・検定員は、その職務にふさわしい人格を身につけるよう、平素から研鑽に努めなければならない。

3 「模範運転者としての行動」

4 「研究と錬磨」

資格取得で「その道のプロ」で終わらすのではなく、プロとしてゆるぎない自信は一朝一夕で得られるものではない。平素の経験に加え、たゆまぬ研鑽と努力の積み重ねが必要不可欠。

5 「お客様の立場に立った接遇」

お客様は、運転に関する操作はもとより、法令、構造等に関する理解について常に戸惑いながら、一定期間精魂をこめて、しかも、多額の費用を費やして努力をしていることを念頭におき、こうした不安な心理状態のお客様を勇気づけ、自身を与え、単に優しい言葉遣いだけでなく、お客様の立場に立った真に愛情のある接遇が必要である。

6 「公平な指導（接遇）」

お客様は、性別、年齢、職業又は社会的地位等において千差万別であるがゆえ、公平な接遇の難しさが伴う。公平を保つため画一的な取扱いをするのではなく、お客様、個々の性格、能力等をよく把握して、その人に応じた指導を行うこと。

7 「言葉使い」

どんなに指導力が優れ有能な指導員であっても、言葉使いが乱暴・横柄であっては、お客様の教習意欲を減退さえ、良い成果は期待できない。言葉一つで大きな自信を得たり、逆に自信を失うなど教習の進展を大きく左右することになるので、平素から言葉使いには気をつけること。

○ 人材育成基本方針

1 「自発的能力開発」キャリア形成促進等を積極的に行う

会社は、会社の発展向上および社員の資質向上を図るために社員の人格を陶冶し、知識、教養を高め、または技能鍛錬錬磨に必要な教育研修を行い、または支援する。

- ・新人社員教育研修
- ・一般的な知識技能に関する教育研修
- ・専門的な知識技能に関する教育研修
- ・管理監督者に対する教育研修
- ・安全衛生に対する教育研修
- ・その他必要と認める教育研修